

2004年度 情報検索応用能力試験

2級 試験問題(後半)

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。
3. 解答時間は、15：15～16：15の60分間です。
4. 中途退席はできません。
5. 問題は3問、4ページ、解答用紙は3ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
(解答用紙裏面の記入内容は採点対象外です。)
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

問 12 サーチエンジン Google の持つ、検索結果表示の特徴を述べなさい。

ただし、解答には以下にあげた 4 種類の機能についての説明を必ず含めること。

「ハイライト」

「KWIC」

「...」

「インデント」

問 13 島津製作所の田中耕一氏の文献調査依頼を受けたサーチャー A 氏は、商用データベースを用いて検索した結果を依頼者 B 氏に報告した。後日、依頼者 B 氏から自分が保有している文献が、検索結果の中に含まれていないとのクレームが寄せられた。サーチャー A 氏の行った検索上の問題点につき、設問(1)～(2)に答えなさい。なお、データベース検索の知識を持たない依頼者 B 氏にも判るように、具体的に説明すること。

(1) サーチャー A 氏が、英語の商用データベースを用いて検索した場合に、著者名検索で想定される検索上の誤りを指摘し、適正な検索手順について具体的に説明しなさい。

(2) サーチャー A 氏が JSTPlus ファイルを用いて検索した場合に、著者名検索で想定される検索上の誤りを指摘し、適正な検索手順について具体的に説明しなさい。

問14 以下の6問から1問を選択し、選択した問題の番号を解答欄に記入し、問題文にしたがって解答しなさい。

1. 国立情報学研究所より公開されている、Webcat と Webcat Plus について、共通点と相違点を説明しなさい。ただし、解答には以下のポイントを含めること。

情報源、収録対象・年代・内容等
所蔵情報
検索機能
両者の今後の展開

2. いわゆる「ガングロ」とそれに類する言葉がマスコミに登場するようになったのはいつ頃からか調べたい。適切なデータベースとその調査方法を述べなさい。ただし、解答には以下のポイントを含めること。

一般週刊誌の記事の見出しを調べる場合
新聞記事（記事の本文も含む）を調べる場合
書籍（あらすじや帯情報なども含む）を調べる場合

3. あなたの所属機関のトップが、ある大企業のトップと面談することになった。秘書役から、「相手企業の最近半年の動向を網羅的に把握してご報告したいので新聞記事を集めて欲しい」という依頼を受けた。単純に企業名で予備検索をしたところ 1,000 件以上がヒットした。どういう考えでどのように適当な量に絞り記事を提供するか述べなさい。ただし、解答には以下のポイントを含めること。

使用したツール
そのツールを選択した理由
具体的な絞り方と注意点

4. イギリスの医学専門誌 22 誌を対象にした調査で、ランダム化比較試験（RCT）の結果を報告した文献の約 52% が MEDLINE で検索されなかった。また、ドイツの歯学専門誌 10 誌では RCT の約 44% が MEDLINE で検索されなかった。このような調査結果がいくつも報告されていることをふまえて、設問（1）～（3）に答えなさい。

- （1）このように再現率が低い理由として考えられることを2つあげなさい。
- （2）RCT を網羅的に検索しなければならない場合、MEDLINE の他に検索するべきと思われるライフサイエンス系のデータベース名を3つあげなさい。
- （3）データベース検索以外で最適と思われる検索方法を1つ述べなさい。

5. 特許出願の中には、その出願（以下、本出願という）より以前に出された他の出願と関係付けられているものがある。以下に示すのは、特許全文データベースから出力される日本公開特許公報のフロントページ（第1頁）の出力例（一部省略されている）である。これを見て設問（1）～（3）に答えなさい。

- (1) この出力例中に表示されている出願番号を全てあげなさい。
 (2) 出力例として示されている本出願とその他の出願との関係について説明しなさい。
 (3) この他に同様な関係にある出願が存在しないかどうか、商用データベースを用いて調査する方法を2種類あげ、それぞれについて 利用する商用データベース名、 利用するシステム名、 検索方法の概要を記述しなさい。

(19) 日本国特許庁 (JP)		(12) 公開特許公報 (A)		(11) 特許出願公開番号 特開2004-209270 (P2004-209270A)	
				(43) 公開日 平成16年7月29日 (2004.7.29)	
(51) Int. Cl. ⁷		F I		テーマコード (参考)	
A 6 1 M 5/32		A 6 1 M 5/32		4 C 0 6 6	
B 6 5 D 83/02		B 6 5 D 83/02		Z	
審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 10 頁)					
(21) 出願番号 特願2004-63628 (P2004-63628)			(71) 出願人 504089574		
(22) 出願日 平成16年3月8日 (2004.3.8)			スミスズ メディカル エイエスディー		
(62) 分割の表示 特願平6-503751の分割			インコーポレイテッド		
原出願日 平成5年5月11日 (1993.5.11)			アメリカ合衆国 0 3 4 3 1 - 0 7 2 4 ニ		
(31) 優先権主張番号 884,191			ューハンブシャー州、キーン、キット ス		
(32) 優先日 平成4年5月18日 (1992.5.18)			トリート (番地なし)、ビー、オー、ポッ		
(33) 優先権主張国 米国 (US)			クス 7 2 4		
(31) 優先権主張番号 043,890			(74) 代理人 100066692		
(32) 優先日 平成5年4月7日 (1993.4.7)			弁護士 浅村 皓		
(33) 優先権主張国 米国 (US)			(74) 代理人 100072040		
			弁護士 浅村 肇		
			(74) 代理人 100080263		
			弁護士 岩本 行夫		
			(74) 代理人 100072822		
			弁護士 森 徹		
最終頁に続く					
(54) 【発明の名称】 注射針の安全パッケージ					

6. 以下の構造式を持つ化学物質はわが国の公定色素のひとつである。この物質の法規制情報を検索する方法を述べなさい。ただし、化学構造の作図による構造検索は行わないものとする。また、解答には以下のポイントを含めること。

使用したツール

(商用データベースに限らないが具体的な名称を述べること。複数使用可能。)

そのデータベースを選択した理由

具体的な検索手順と注意点

